

対象：「プロジェクトマネジメント知識体系ガイド（PMBOK®ガイド）第7版+プロジェクトマネジメント標準」日本語版
支部会員向けPDF（2021年11月発行）

変更概要：本文修正3、表修正3、略語の追加2、用語の追加7、用語の削除2、定義の修正13、定義表記の変更

No.	パート	旧ページ	新ページ	内容	箇所	種別	内容	変更前
1	序文	xi	xi	本文	図で、『PMBOK®ガイド』第7版のプロジェクトマネジメント標準の「・プロジェクトマネジメントの原理・原則」の、最後の項目	修正	変革	チェンジ
2	PMBOK	22	22	本文	2.2.3 「パフォーマンスが高いプロジェクト・チーム」の「▶認知」	修正	良いパフォーマンス	良いパフォーマンス
3	PMBOK	46	46	表	表2-4 「開発アプローチ」列の4行目	修正	漸進型	反復型
4	PMBOK	55	55	本文	2.4.2.2 「見積り」の「▶精密さ」の3行目	修正	べきである。	べきある。
5	PMBOK	217	217	表	表X4-1の5行目、属性が「提供の重点」に対する「プロダクト視点」	修正	「開始から撤退」の責任	「撤退の開始」責任
6	PMBOK	217	217	表	表X4-1の5行目、属性が「提供の重点」に対する「プロジェクト視点」	修正	「価値の提供」の責任	「価値の提供」責任
7	PMBOK	234	234	略語と意味	NPS®	略語追加	Net Promotor Score® ネット・プロモーター・スコア	NA
8	PMBOK	234	234	略語と意味	VDO	略語追加	value delivery office 価値実現オフィス	NA
9	PMBOK	235～253	235～254	用語	すべての用語	表記変更	各用語に英語を併記	英語併記なし
10	PMBOK	235	235	用語および定義	アジャイル (Agile)	用語追加	アジャイル宣言で表明されている価値と原則のマインドセットを説明するために使用される用語。	NA
11	PMBOK	236	236	用語および定義	開発アプローチ (Development Approach)	用語追加	プロジェクトのライフサイクル中にプロダクト、サービス、または所産を創出して発展させるために使用される手法。予測型、反復型、漸進型、アジャイル型、またはハイブリッドの手法など。	NA
12	PMBOK	236	236	定義	開発アプローチとライフサイクル・パフォーマンス領域 (Development Approach and Life Cycle Performance Domain)	定義修正	パフォーマンス領域の一つ。活動と機能をプロジェクトの開発アプローチ、ケイデンス、ライフサイクル・アプローチに関連付ける。	パフォーマンス領域の一つ。活動と機能を構造化されたフェーズ、開発アプローチ、プロジェクトのガバナンスに関連付ける。
13	PMBOK	236	237	用語および定義	価値実現オフィス (VDO) (Value Delivery Office (VDO))	用語追加	チームのコーチング、組織全体でのアジャイル・スキルと能力の構築、スポンサーやプロダクト・オーナーが効果的に役割を果たせるようにするための指導などに重点を置いた、プロジェクトの実施を支援する組織。	NA
14	PMBOK	238	239	定義	顧客の声 (Voice of the Customer)	定義修正	プロダクト、サービス、所産を提供するために用いられる計画方法の一つ。プロジェクトやプロダクト開発のフェーズごとに、顧客の要望を適切な技術的要求事項に変換して顧客の要望を正確に反映する。	プロダクト、サービス、所産を提供するために用いられる計画方法の一つ。プロジェクトの <u>プロダクト</u> 開発のフェーズごとに、顧客の要望を適切な技術的要求事項に変換して顧客の要望を正確に反映する。
15	PMBOK	239	240	定義	サイクル・タイム・チャート (Cycle Time Chart)	定義修正	時間の経過とともに完了した <u>作業</u> 項目の平均サイクル・タイムを示す図。	時間の経過とともに完了した項目の平均サイクル・タイムを示す図。
16	PMBOK	240	241	定義	障害事項 (Impediment)	定義修正	チームの目標の達成を妨げる障害要因。 <u>ブロッカーとも呼ばれる。</u>	チームの目標の達成を妨げる障害要因。
17	PMBOK	242	243	定義	漸進型アプローチ (Incremental Approach)	定義修正	適応型開発アプローチの一つ。完了と見なされる必要十分な能力が含まれるまで成果物の作成を続け、機能を追加する。	適応型開発アプローチの一つ。完了と見なされる必要十分な機能が成果物に含まれるように機能を追加することにより、成果物が精算される。
18	PMBOK	243	244	用語および定義	障害事項	用語削除	NA (P241の障害事項へ)	チームの目標の達成を妨げる障害要因。ブロッカーとも呼ばれる。
19	PMBOK	243	244	定義	タスク・ボード (Task Board)	定義修正	員が各タスクの状態を確認できる、計画された作業の <u>進捗</u> 状況を視覚的に表現したもの。	員が各タスクの状態を確認できる、計画された作業の <u>視覚的</u> な表現。

対象：「プロジェクトマネジメント知識体系ガイド（PMBOK®ガイド）第7版+プロジェクトマネジメント標準」日本語版
支部会員向けPDF（2021年11月発行）

変更概要：本文修正3、表修正3、略語の追加2、用語の追加7、用語の削除2、定義の修正13、定義表記の変更

No.	パート	旧ページ	新ページ	内容	箇所	種別	内容	変更前
20	PMBOK	244	245	定義	テーラリング (Tailoring)	定義修正	アプローチ、ガバナンス、プロセスが、特定の環境および目の作業により適合するように、それらを慎重に適応させること。	アプローチ、ガバナンス、プロセスが、特定の環境および目のタスクにより適合するように、それらを慎重に適応させること。
21	PMBOK	244	245	用語および定義	適応型アプローチ (Adaptive Approach)	用語追加	要求事項の不確かさと変動性の度合いが高く、プロジェクト全体にわたって要求事項が変わり得る開発アプローチ。	NA
22	PMBOK	246	247	用語および定義	ビジネスモデル・キャンバス (Business Model Canvas)	用語追加	価値提案、インフラストラクチャー、顧客、および財務について説明する1ページの視覚的な要約。これらはリーン・スタートアップの状況でよく使用される。	NA
23	PMBOK	246	247	定義	品質方針 (Quality Policy)	定義修正	組織が品質マネジメントに組織のシステムを組み入れる際に、組織行動のガバナンスを実行する基本原則。	プロジェクト品質マネジメント知識エリアに固有の方針。組織が品質マネジメントに組織のシステムを組み入れる際に、組織行動のガバナンスを実行する基本原則となる。
24	PMBOK	247	248	用語および定義	プロジェクト・ビジョン記述書 (Project Vision Statement)	用語追加	プロジェクトの目的が明示された、プロジェクトの簡潔で概要的な説明。チームのプロジェクトへの貢献を動機付ける。	NA
25	PMBOK	247	248	定義	プロジェクト・マネジャー (Project Manager)	定義修正	母体組織によって任命された人で、チームを率いてプロジェクト目標を達成する責任を負う。プロジェクト・リーダーも参照のこと。	母体組織によって任命された人で、チームを率いてプロジェクト目標を達成する責任を負う。
26	PMBOK	247	249	用語および定義	プロジェクト・リーダー (Project Lead)	用語追加	主にプロジェクトの作業を調整することによって、プロジェクト・チームがプロジェクトの目標を達成するのを支援する人。プロジェクト・マネジャーも参照のこと。	NA
27	PMBOK	248	249	定義	ブロッカー (Blocker)	定義修正	障害事項を参照。	障害事項を参照。
28	PMBOK	250	252	定義	ユースケース (Use Case)	定義修正	ユーザーが特定のゴールを達成するためにシステムとやり取りする方法を記述し解説した作成物。	特定のゴールを達成または断念するために必要なシナリオまたはステップにおけるユーザーの視点を記述し解説した作成物。
29	PMBOK	251	252	用語および定義	ライフサイクル・パフォーマンス領域	用語削除	NA	パフォーマンス領域の一つ。活動と機能を構造化されたフェーズ、開発アプローチ、プロジェクトのガバナンスに関連付ける。
30	PMBOK	252	253	定義	リスク報告書 (Risk Report)	定義修正	プロジェクト文書の一つ。プロジェクトの個別リスクに関する情報と全体リスクのレベルに関する情報とをまとめたもの。	プロジェクト・リスク・マネジメント・プロセスを通して段階的に作成され、プロジェクトの個別リスクに関する情報と全体リスクのレベルに関する情報とをまとめたもの。
31	PMBOK	253	254	定義	ログ (Log)	定義修正	プロセスや活動の実行中に取り上げると決めた項目を記録し、記述し、明示するために用いる文書。通常は、課題、変更、あるいは前提条件などの語を前に付けて使用される。	プロセスや活動の実行中に取り上げると決めた項目を記録し、記述し、明示するために用いる文書。

* NAは該当箇所がないことを示します。